

電子複写不可

自昭和十九年五月一日  
至昭和十九年五月三十一日

# 陣中日誌

第五十飛行場大隊

防衛研究所戦史室

返還史料

2720  
-3020  
21

本土周辺  
49

5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5

Hand #  
1281  
龍

Hand #  
1185

第五十飛行場大隊

# 陣中日誌

第貳號

軍事秘密

自昭和十九年五月一日  
至昭和十九年五月三十一日

CONFIDENTIAL

RR 76347  
Cincpac-Cincpoa  
B-1155  
Okinawa 24 April 46

五月一日

出場人員

將校 一五 准下技 五。 兵 四二一

雨

派遣隊

四 九 九四

伊江島

渡地連絡所

一 一 五

主力行動

一 大隊ハ、五カヲ以テ勤勞者用、收容施設  
設立ニ輸送器材ノ運搬作業ヲ實施ス  
ルト共ニ一部ヲ以テ兵營——伊江村間  
ノ道路補修工事ヲ實施ス

二 發置兵カハ兵舎内ノ清潔並兵器被服ノ整  
備(整理)ヲ實施ス

三 古澤軍醫少尉戰用衛生材料ノ保管ヲ命ズ  
四 私信差出ヲ許可セラル

連絡所行動

五 九。佐藤曹長以下五名ハ本部發置  
者宮治曹長以下ニ六名自動貨車一補給  
車ニテ併セ指揮シ發勤艇ニ便乘セシメ輸送  
ス一三。連絡所事務所ヲ波止場家屋ヲ借





五、本五日、日、私信、差出、許可、又

鹿兒島郵便局、集付

球第一、天、五、部隊、何、隊、何、某

但、三、沖、繩、本、島、内、宛、八、球、第一、天、五、部隊、下、記、明、ス、ケ、シ

六、電信、為、替、ス、為、替、取、扱、三、関、三、号、八、別、ヲ、指、示、ス

昭和拾九年五月

內務規定

武塔四部内

23 號

第五十飛行場大隊

部隊内務規定本冊ノ通定

昭和十九年五月一日

第五十總行揚大隊長 田村真三郎

第一章	總則	1
第二章	命令報告通報及事務	1
第一節	命令	1
第二節	報告通報	2
第三節	事務	2
第三章	火器及室内裝置	2
第四章	勅	3
第一節	部隊日直勤務	3
第二節	内務衛兵	6
第三節	當番勤務	7
第五章	起居及検査	7
第一節	起居及容儀	7
第二節	休日及外出	8
第六章	秘密保持	8

第七章	保育及衛生	11
第一節	保育	11
第二節	衛生	10
第八章	委員	11
第一節	委員組織及職務	11
第二節	炊事場及浴場	11
第三節	物品販賣所	12
第四節	將校集會所及官集會所	13
第九章	火災及危險所防	13
第一節	火災及危險所防	13
第十章	郵便物及電報取扱	14

第一章	總則
第一	本規定ハ伊江島(本島略稱)ニ於ケル軍隊内務ニ關スル事項ヲ規定ス
第二	本島駐屯間ニ於ケル内務ハ總テ軍隊内務令ヲ適用シ本規定ハ同内務令中特ニ規定スベキ事項ヲ規定ス
第三	本規定中各章目下段及各條項ノ左方括弧内ハ内務令ノ相當章條ヲ示ス
第二章	命令報告通報及事務(第五章)
第一節	命令
第四	兵ニ命令(會報)傳達ニ適確ナラシムル爲内務局長ハ命令(會報)傳達簿ヲ備付テ要旨ヲ摘録シ置クモノトス
第五	經理官(警備長)中隊ニ命令下達ニ參列スルモノトス

第二節 報告通報

第六 日報(患者日報を含む)ハ九時迄ニ提出スルコトス

第三節 事務

第七 内務令第七十四但書ニ依リ備付補助簿別紙第一ノ如シ

第三章 兵營及室内裝置

第八 兵營内建物ノ配置使用區分及兵營上見做ス區域附表第三ノ如シ

第九 下士官居室ニハ身分相應ノ物西ニ限リ所屬隊長ニ於テ許可シ備付ケルコトヲ得

第十 中隊長ハ下士官室ニ精神修養及軍事(普通)學項修習ニ有益ナル圖書ヲ備付ケルコトヲ得

前項圖書保管取扱ハ所屬長指名スル者トス

第十一 兵營内土地建築物等保存ノ爲ニ本如定ム

1. 土地建築物ノ主管區分附表第三ノ如シ

2. 土地建築物ノ淨化擔任區分附表第六ノ如シ

3. 土地建築物ハ大隊長ノ許可ナク是ニ據テ開改造又ハ變更スルコトヲ禁ズ

4. 床板ノ水洗ハ勉メテ避ケルコトス

5. 床板上ハ塵アル場合ハ外脱靴スルモノトス

但シ衛安勤務者ハ此ノ限リニ非ズ

第十二 建築物各室ノ標札並指示法附表第四ノ如シ

第十三 建築物ノ鍵ハ關係委任者之ヲ保管シ委任者不在時ハ衛兵所ニ預ケ置ケモノトス

第十四 下士官以下ノ所持スル兵器被服ノ裝置法別紙第五ノ如シ

第四章 勤務(第七章)

第一節 部隊日直勤務

第十五 兵營内ニ在リ部隊日直勤務者ヲ置キ部隊日直勤務者ハ大隊長ニテ命ズ

左記

日直 將校 大隊ヲ通ジ 一名

日直 下士官 本部中隊毎ニ 一名

日直 上等兵 本部中隊毎ニ 一名

第十八 不寝番ハ本部中隊毎ニ二名(但本部不寝番ニ建築

中隊ヨリ一名宛)宛勤務セラルトシ服裝ハ時服常服

一時間交代トシ

不寝番ノ服装心得左ノ如シ

(一) 一名ハ兵舎ニ付近ニ位置シ一名ハ絶エズ倉内

外ヲ見廻リ火災盜難ノ豫防燈火管制衛生注意ス

(二) 非常火災其ノ他異常ヲ發見セバ撥ヲ失セズ固

番下士官ニ報告シ火急ノ場合ニ處置ヲナス

(一) 巡察者ニ對シテハ異常ノ有無ヲ報告シ其ノ一名ハ要之レバ隨行ス

(二) 交代ハ兵舎中央部トシ上下番之會ノ上所要ノ申送りヲナス

第二節 内務衛兵

第十九 内務衛兵(以下衛兵ト略稱ス)ハ本令ニ示ス外伊江森其通報警備規定同計畫ニ示ス警戒ニ依ルモトス

第二十 衛兵ニ差出區分附表第ニ示ス如シ

第二十一 上番衛兵ハ交代時刻五分前ニ本部前ニ北面ニ集合スルモトス

第二十二 衛兵ノ服裝ハ軍裝ニシテ鞋履水筒背負袋ヲ持

第二十三 彈藥ハ衛兵所ニ各人十五發宛ヲ備付ケ使用

第二十四 關シテハ別命ズ

第二十五 衛兵勤務ニ於テハ夜間トハ夕食時限ヨリ在米時限迄

第三十三條 衛兵所ニ於テ閱讀ヲ許ス書類在、如シ (6)

内務令 要務令 衛隊令 同勤務令 禮式令

同附錄 陸軍刑法同被罰令 内務規定

伊江島警備規定同計畫

第三十四條 衛兵ハ通常日夕矣呼リ起承時迄司令歩哨ヲ兩

ニ概テ三分一ノ假眼ヲ許シ救護毛布ノ使用ヲ許可ス

歩哨ハ晝間表門ニ門ヲ閉メ先後ハ動哨トス

第三十五條 歩哨特別守則在、如シ

(一) 表門ヲ守リ出入者ヲ監視シ絶テ四周ハ上空ヲ警戒ス

(二) 門ヲ閉タル後ハ兵營内ヲ動哨ニ去トシテ火災

盜難、豫防燈火管制ニ注意ス

(三) 異常ヲ認メタル時ハ速カニ衛兵司令ニ急報シテ

火急ニテ報告スルノ暇ナキ時ハ大聲ニ一般ニ報告ス

(四) 兵舎不寢卷ト時ニ連絡ス

陸軍

第三節 當番勤務

第三十七條 諸當番若出區分附表第六ノ如シ

第三十八條 下士官ハ大隊長ノ認可ヲ得テ所屬長ノ許可ニヨリ

當番兵ヲ一名宛使用スルコトヲ得

第三十九條 當番ノ交代ハ通常夕食後トス

第五章 起居及接査(第一章)

第一節 起居及客儀

第四十條 日課時限 附表第七ノ如シ

第四十一條 兼アル場合ノ外ニ衣ヲ脱シ(上衣脱スル場合ノ階級章)

附著位置ハ右乳附近ニ又ハ上半身裸体トスルコトヲ

得又作業運動等ニ於テ必要ト認め時ハ下士官以上

ノ指揮官ニ於テ被服ヲ脱セルニトヲ得

第四十二條 日朝忌呼ノ位置ハ本部中隊毎ニ通常各前トシ

日夕矣呼ハ内務班トス

(7)

第三章 交際ニ關シテノ通リ定ム

(8)

(1) 常時交際ニ得ル場所……各隊長室、衛安所、炊事場、廊下

(2) 必要ニ應ジテ交際場所……各室精進、右衛門室、兵室

第三章 兵營内居住下士官以下ニ精神修養上ノ奉事

(普通) 學修習上有益ナルモノ、閱讀ヲ許可ス

中隊長 副官ハ軍紀風紀特ニ思想上ニ關シテ點檢シ

許可品ニ對シテハ認印ヲ捺シ置クモノトス

兵營内居住下士官以下ニ奢侈豪華ニ陥ルル

範圍内ニ於テ中隊長 副官ニ於テ下着、手套、日用

品、使用ヲ許可ス

陸軍

第三章 兵營内居住下士官以下ハ外出ニ對シテハ

左ノ身分證明書ヲ携行スルモノトス

第 号	身分證明書
球ノ天五口部隊長	官氏名
右ハ當隊ノ者ナルコトヲ證明ス	
球ノ天五口部隊長	認印

第六章 秘密保持 (第七章)

秘密保持ニ關シテハ本令ニヨル外大隊内

謀規定ニ據ルモノトス

第七章 保育及衛生 (第十章)

(9)

第三章 外出區域附圖第一ノ如シ

陸軍